



あすなろ会報

年 間 テ - マ 【 利 目 】

平成14年8月例会報告（執行部担当）

テ - マ 釧 路 の 市 政 報 告

開催日 平成14年8月7日 午後6時30分

場 所 釧路パシフィックホテル

出席者 第1部会5名 第2部会3名 第3部会4名

第4部会8名 出席者合計20名

〔例会報告〕

8月例会は草島守之会員（釧路市議会議員）様を講師に迎え「釧路の市政報告」と題して講演していただきました。身内なのでやりにくいといいながらズバリ本題から入られまして、まず釧路市政と言っても様々な見方があるが行政と経済とは一体でありますと。ここ数年と言うよりも数十年来釧路の経済、産業構造を見ているとご覧の通りです。経済動向は1990年から2000年の10年は失われた経済の10年と言われておりその中において日本全体が復活してないのが現状です。

そこで釧路市の今まで経済を牽引してきました基幹産業、これについて現状では水産が昨年は14万5千トン、大体金額にして170億でしょうか、昭和62年～63年がピークでした。この時には130万トンの水揚げがありましたがこれを対比しただけでも大変な落ち込みが想像でき、今年に入りまして4万5千トン程の水揚げ量になっています。これから本格的に始まる秋鮭、サンマでどうなるか不安材料です。

石炭産業は太平洋炭鉱から釧路コールマインに事業が移行されましてベトナム、中国から研修生を受け入れスムーズに動いております。採炭は炭質、量とも順調で状況によって70万トンの枠を確保できそうです。石炭の埋蔵量は最新調査で心配が無しとの事です。

紙、パルプにつきましては景気の動向に左右される中で生産量も推移しておりますけれども一番気になる水産、石炭産業につきましてこのような状況で動いております。

このような中で釧路市がこれから明るい見通しとして何があるのかと期待しているのが水揚げ量です。これからは釧路市の経済産業構造の転換をはかっていくうえで政府の言う構造改革、規制緩和に対して一般には利便性、期待感はローカル的にはマイナス面が多くみられる。景気の動向又はこれ入れについて公共事業の確保を訴えてきました。公共事業を悪だと言う人がおりますが現実には新たな企業誘致など難しい現実ですから釧路市の水産、石炭など基幹産業の体力の落ち込みをカンフル剤、栄養を流し込むそれは何かという一定期間体力を回復する手段として公共事業が一番適切と思います。又地元業者の育成、保護などは一定の調整にて発注率を確保する事が必要だと思います。これからの釧路についてはどのような事業展開をしていくべきか、釧路コールマインの坑内の抗道を利用して産業廃棄物を処理できないか、又カジノ構想で釧路に誘致できないか、大胆な思いつきで民間と行政と一体となって町作りを実行すべきである。行政と民間がどのような形で協力し合えるかが大きな壁ですが、意見交換をしながら回数を増やし協力し合えたらと思っておりますと述べられその後、質疑応答に入り会員より北大通の駐車帯を設けて欲しいや、今進められている末広3丁目の立体駐車場の件など色々活発な意見なども出されました。講師が会員という事もあり日頃聞けない話など沢山あり大変有意義に終了しました。

草島会員にはご多忙中にもかかわらずご講演いただき有り難うございました。参加されました会員の皆様大変ご苦労様でした。

〔事務局連絡〕

- ・さる8月23日第3部会の山口良治会員の「やまんば」店より出火、クラブよりお見舞いを出しました。山口会員につきましては慎んでお見舞い申し上げます一日も早い復旧をお祈り申し上げます
- ・第40期も残りわずかになりましたがまだ会費未納者がおられますので早急に会費納入をお願いします
- ・後期の例会日程（予定）
10月12日（土）一泊研修例会（川湯）11月8日（金）執行部例会（パシフィック）
12月6日（金）忘年例会（パシフィック）

〔部会開催報告〕

- ・第2部会 8月7日 あぶり家 8名出席で部会を開きました

〔ゴルフ同好会連絡〕

- ・同好会のコンペが9月22日（日）阿寒カントリーで開催します多数の参加をお願いします

幹事 山口秀昭 TEL 23-6441

△△9月例会のお知らせ△△

日時 9月13日（金）午後6時30分
場所 釧路パシフィックホテル
テーマ オリエンテーション
講師 市橋清捷会員様 柵木隆雄会員様（二名予定）